

<p>学校教育目標 1 自ら学び考えて行動する生徒 2 礼儀正しく思いやりのある生徒 3 心身ともに健康でたくましい生徒</p> <p>○目指す学校像……①生徒が安心して生き生きと活動し学ぶことができる学校 ②地域と共に、粘り強く組織的に改善に努める学校 ○目指す児童・生徒像……①向上心を持ち主体的に学び続ける生徒 ②自分を大切に、協働できる生徒 ③挨拶、礼儀を身に付けた生徒 ○目指す教師像……①次世代を担う人材を育成している社会的使命感をもつ教師 ②生徒や保護者の気持ちに適切に寄り添い、チームワークを大切に指導ができる教師 ③地域との連携に努められる教師 ④教育課題に敏感に対応し研修・研鑽を怠らない教師</p>	<p>【学校経営の重点】○確かな学力の育成(学ぶ意義や目的意識を明確にし、習得した知識・技能の活用を図るための学習を取り入れる) ○人権教育の推進(人権尊重の理念や人権課題について十分理解し、教育活動の中で適切な指導を行う) ○豊かな心の涵養(道徳教育は「特別の教科道徳」の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行う)</p> <p>重点目標の成果と課題</p>
--	--

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○%	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価記入欄	評価
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。	<p>積極的な情報発信と公開を通して、教育活動への理解を求める。</p> <p>地域行事への協力に努め、保護者や地域との連携強化を図る。地域環境及び人材を生かした体験的活動を企画し、実施する。</p> <p>教員の働き方改革を推進する。</p>	<p>学校だより・学年だより、ホームページの更新で保護者の安心できる情報を発信する。</p> <p>教育活動を積極的に公開するとともに、保護者の気持ちに寄り添い、丁寧かつ誠実な対応を心がけ、良好な人間関係を築く。</p> <p>コミュニティスクールとして学校運営協議会の機能を活かし積極的に周知するとともに意見交換を行う。</p> <p>学校ボランティアコーディネーターと連携を図り、ゲストティーチャーや地域ボランティアを積極的に活用する。</p> <p>毎月、各自の定時退勤日を設定させ、そのスケジュールを他の教員にもわかるようにする。</p> <p>定時退勤、休暇取得、各自の校務に集中しやすいように、1-1会議日を設け定時に退勤させる。</p>	<p>4. 週4回以上のHP更新、月4回以上の学年通信、月1回学校通信発行</p> <p>3. 週3回以上のHP更新、月3回以上の学年通信、月1回学校通信発行</p> <p>2. 週2回以上のHP更新、月2回以上の学年通信、月1回学校通信発行</p> <p>1. 週1回以上のHP更新、月1回学年通信、不定期学校通信発行</p> <p>4. 90%以上の教員が意識して公開や対応に努めた</p> <p>3. 80%以上の教員が意識して公開や対応に努めた</p> <p>2. 70%以上の教員が意識して公開や対応に努めた</p> <p>1. 公開に努めた教員が70%未満だった</p> <p>4. 必要情報の90%以上を通知・意見交換</p> <p>3. 必要情報の80%以上を通知・意見交換</p> <p>2. 必要情報の70%以上を通知・意見交換</p> <p>1. 必要情報の70%未満を通知・意見交換</p> <p>4. 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の90%以上を実施</p> <p>3. 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の80%以上を実施</p> <p>2. 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の70%以上を実施</p> <p>1. 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の実施が70%未満</p> <p>4. 各自定時退勤日を設定し実施した教員の割合が90%以上</p> <p>3. 各自定時退勤日を設定し実施した教員の割合が70%以上</p> <p>2. 各自定時退勤日を設定し実施した教員の割合が60%以上</p> <p>1. 各自定時退勤日を設定し実施した教員の割合が50%以上</p> <p>4. 1-1会議日を月に4回以上設定した</p> <p>3. 1-1会議日を月に3回以上設定した</p> <p>2. 1-1会議日を月に2回以上設定した</p> <p>1. 1-1会議日を月に1回以上設定した</p>			<p>A 学校評価アンケート「ア」③「情報発信」肯定的評価 80%以上</p> <p>B 学校評価アンケート「ア」③「情報発信」肯定的評価 70%以上</p> <p>C 学校評価アンケート「ア」③「情報発信」肯定的評価 55%以上</p> <p>D 学校評価アンケート「ア」③「情報発信」肯定的評価 55%未満</p> <p>A 学校評価アンケート「ア」④「教育活動公開」肯定的評価 80%以上</p> <p>B 学校評価アンケート「ア」④「教育活動公開」肯定的評価 70%以上</p> <p>C 学校評価アンケート「ア」④「教育活動公開」肯定的評価 55%以上</p> <p>D 学校評価アンケート「ア」④「教育活動公開」肯定的評価 55%未満</p> <p>A 学校評価アンケート「ア」⑤「地域人材・資源の活用」肯定的評価 80%以上</p> <p>B 学校評価アンケート「ア」⑤「地域人材・資源の活用」肯定的評価 70%以上</p> <p>C 学校評価アンケート「ア」⑤「地域人材・資源の活用」肯定的評価 55%以上</p> <p>D 学校評価アンケート「ア」⑤「地域人材・資源の活用」肯定的評価 55%未満</p> <p>A 学校評価アンケート「ア」⑥「地域一体教育活動」肯定的評価 80%以上</p> <p>B 学校評価アンケート「ア」⑥「地域一体教育活動」肯定的評価 70%以上</p> <p>C 学校評価アンケート「ア」⑥「地域一体教育活動」肯定的評価 55%以上</p> <p>D 学校評価アンケート「ア」⑥「地域一体教育活動」肯定的評価 55%未満</p> <p>A 1人当たりの月平均時間外在等時間を前年度比10%以上減らす</p> <p>B 1人当たりの月平均時間外在等時間を前年度比7%以上減らす</p> <p>C 1人当たりの月平均時間外在等時間を前年度比4%以上減らす</p> <p>D 1人当たりの月平均時間外在等時間が前年度と同等または増加</p> <p>A 設定した日の定時退勤の達成割合が90%以上</p> <p>B 設定した日の定時退勤の達成割合が80%以上</p> <p>C 設定した日の定時退勤の達成割合が70%以上</p> <p>D 設定した日の定時退勤の達成割合が60%以上</p>						
確かな学力の育成	子どもが主体的に学び、教師が深く授業改革を進め、主体的・対話的で深い学びを実現することで、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等とともに学び続ける力の育成を図る。	<p>授業をデザインする8つの取り組みを踏まえ、基礎的、基本的な知識・技能の確実な定着を目指す。</p> <p>対話のある学び、協働的な学び、発表活動など指導方法を工夫する</p> <p>自ら学び続ける生徒を目指し、家庭学習(読書)に進んで取り組む意欲を喚起し学習習慣の定着を図る。</p> <p>学習への興味・関心を高め、子どもの「学び続ける力」を育てる。</p> <p>授業や家庭におけるタブレット端末等の効果的な活用について研究し、目標に応じて適切に活用できる力を育てる。</p>	<p>授業始めにわらい流れを明示し、見通しや目標を確認させる。授業終わりは振り返りをさせ学習内容の確認、定着を図る。</p> <p>対話のある学び、協働的な学び、発表活動など指導方法を工夫する</p> <p>自ら学び続ける生徒を目指し、家庭学習(読書)に進んで取り組む意欲を喚起し学習習慣の定着を図る。</p> <p>授業や家庭におけるタブレット端末等の効果的な活用について研究し、目標に応じて適切に活用できる力を育てる。</p>	<p>4. 90%以上の授業で意識して指導した</p> <p>3. 80%以上の授業で意識して指導した</p> <p>2. 70%以上の授業で実施して指導した</p> <p>1. 70%未満の授業で実施して指導した</p> <p>4. 90%以上の授業で実施</p> <p>3. 80%以上の授業で実施</p> <p>2. 70%以上の授業で実施</p> <p>1. 70%未満の授業で実施</p> <p>4. 90%以上の指導場面で実施</p> <p>3. 80%以上の指導場面で実施</p> <p>2. 70%以上の指導場面で実施</p> <p>1. 70%未満の指導場面で実施</p> <p>4. 90%以上の授業で意識して指導した</p> <p>3. 80%以上の授業で意識して指導した</p> <p>2. 70%以上の授業で実施して指導した</p> <p>1. 70%未満の授業で実施して指導した</p>			<p>A 生徒のアンケートの肯定的回答率が90%以上(MNE(2)7)</p> <p>B 生徒アンケートの肯定的回答率が80%以上</p> <p>C 生徒アンケートの肯定的回答率が70%以上</p> <p>D 生徒アンケートの肯定的回答率が70%未満</p> <p>A 生徒アンケートの肯定的回答率が90%以上(MNE(2)2)</p> <p>B 生徒アンケートの肯定的回答率が80%以上</p> <p>C 生徒アンケートの肯定的回答率が70%以上</p> <p>D 生徒アンケートの肯定的回答率が70%未満</p> <p>A 生徒アンケートの肯定的回答率が90%以上(MNE(2)1他)</p> <p>B 生徒アンケートの肯定的回答率が80%以上</p> <p>C 生徒アンケートの肯定的回答率が70%以上</p> <p>D 生徒アンケートの肯定的回答率が70%未満</p> <p>A 生徒アンケートの肯定的回答率が90%以上(MNE(1)1他)</p> <p>B 生徒アンケートの肯定的回答率が80%以上</p> <p>C 生徒アンケートの肯定的回答率が70%以上</p> <p>D 生徒アンケートの肯定的回答率が70%未満</p>						
豊かな心の涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にすること、意識・意欲・態度を育てる。	<p>自他ともに大切にすること、規範意識等を育む。</p> <p>人権を相互に尊重する風土を作り、いじめを防ぐ、許さない指導を徹底する。また専門機関とも連携を図りながら、学校のチーム力を高め指導の充実を図る。</p> <p>生徒会活動、委員会活動、係活動、各行事の実行委員会などの活動を通して、子どもの主体性を育むとともに自己有用感を高める。</p> <p>特別支援教育の視点に基づいた授業や環境の整備に努める。また、校内委員会や特支コーディネーターと連携し、特別支援教育や教育相談の充実を図る。</p>	<p>「特別な教科 道徳」の授業を中心に教育活動全般において挨拶や規範意識の向上、道徳的実践力の育成を図る。(挨拶、時間を守る、傾聴)</p> <p>いじめ防止の授業を月1回以上実施</p> <p>いじめ防止の授業を学期に2回以上実施</p> <p>いじめ防止の授業を学期に1回以上実施</p> <p>いじめ防止の授業を年に2回以上実施</p> <p>4. 90%以上の指導場面で実施</p> <p>3. 90%以上の指導場面で実施</p> <p>2. 70%以上の指導場面で実施</p> <p>1. 70%未満の指導場面で実施</p> <p>4. 90%以上の指導や授業で意識して実施</p> <p>3. 80%以上の指導や授業で意識して実施</p> <p>2. 70%以上の指導や授業で意識して実施</p> <p>1. 70%未満の指導や授業で意識して実施</p>	<p>4. 90%以上の授業、指導場面で実施</p> <p>3. 80%以上の授業、指導場面で実施</p> <p>2. 70%以上の授業、指導場面で実施</p> <p>1. 70%未満の授業で実施</p> <p>4. いじめ防止の授業を月1回以上実施</p> <p>3. いじめ防止の授業を学期に2回以上実施</p> <p>2. いじめ防止の授業を学期に1回以上実施</p> <p>1. いじめ防止の授業を年に2回以上実施</p> <p>4. 90%以上の指導場面で実施</p> <p>3. 90%以上の指導場面で実施</p> <p>2. 70%以上の指導場面で実施</p> <p>1. 70%未満の指導場面で実施</p> <p>4. 教員アンケートの肯定的回答率が90%以上</p> <p>3. 教員アンケートの肯定的回答率が80%以上</p> <p>2. 教員アンケートの肯定的回答率が70%以上</p> <p>1. 教員アンケートの肯定的回答率が70%未満</p>			<p>A 学校評価アンケート「ウ」②③「規範意識や挨拶」肯定的評価 80%以上</p> <p>B 学校評価アンケート「ウ」②③「規範意識や挨拶」肯定的評価 70%以上</p> <p>C 学校評価アンケート「ウ」②③「規範意識や挨拶」肯定的評価 55%以上</p> <p>D 学校評価アンケート「ウ」②③「規範意識や挨拶」肯定的評価 55%未満</p> <p>A 学校評価アンケート「ウ」④「いじめ・体罰防止」肯定的評価 80%以上</p> <p>B 学校評価アンケート「ウ」④「いじめ・体罰防止」肯定的評価 70%以上</p> <p>C 学校評価アンケート「ウ」④「いじめ・体罰防止」肯定的評価 55%以上</p> <p>D 学校評価アンケート「ウ」④「いじめ・体罰防止」肯定的評価 55%未満</p> <p>A 生徒アンケートで「学校は楽しい」満足評価 80%以上</p> <p>B 生徒アンケートで「学校は楽しい」満足評価 70%以上</p> <p>C 生徒アンケートで「学校は楽しい」満足評価 55%以上</p> <p>D 生徒アンケートで「学校は楽しい」満足評価 55%未満</p> <p>A 教員アンケートの肯定的回答率が90%以上</p> <p>B 教員アンケートの肯定的回答率が80%以上</p> <p>C 教員アンケートの肯定的回答率が70%以上</p> <p>D 教員アンケートの肯定的回答率が70%未満</p>						
健やかな体の育成	正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実する。	<p>運動の日常化と健康教育及び食育の充実を図る。</p> <p>家庭と連携しながら、健康教育と食育を推進し、睡眠、運動、栄養の良い生活習慣の定着を図る。</p> <p>安全指導計画に基づき、定期的な避難訓練や安全指導を実施する。また安全点検とともに校内美化、環境整備に努める。</p> <p>安全教育の全体計画を基に3領域をバランスよく推進し、子どもたちが自身の安全を守るとともに他者や社会の安全に貢献できる力を育てる。</p>	<p>体力テストの結果分析を生かした体育授業や運動部活動を行うと共に家庭と連携し運動の日常化を図る。</p> <p>家庭と連携しながら、健康教育と食育を推進し、睡眠、運動、栄養の良い生活習慣の定着を図る。</p> <p>安全指導計画に基づき、定期的な避難訓練や安全指導を実施する。また安全点検とともに校内美化、環境整備に努める。</p> <p>安全教育の全体計画を基に3領域をバランスよく推進し、子どもたちが自身の安全を守るとともに他者や社会の安全に貢献できる力を育てる。</p>	<p>4. 活動の90%以上で達成</p> <p>3. 活動の80%以上で達成</p> <p>2. 活動の70%以上で達成</p> <p>1. 活動の70%未満で達成</p> <p>4. 90%以上の指導場面で実施</p> <p>3. 80%以上の指導場面で実施</p> <p>2. 70%以上の指導場面で実施</p> <p>1. 70%未満の指導場面で実施</p> <p>4. 計画の90%以上の指導および実践</p> <p>3. 計画の80%以上の指導および実践</p> <p>2. 計画の70%以上の指導および実践</p> <p>1. 計画の70%未満の実施、実践</p> <p>4. 90%以上の指導場面で実施</p> <p>3. 80%以上の指導場面で実施</p> <p>2. 70%以上の指導場面で実施</p> <p>1. 70%未満の指導場面で実施</p>			<p>A 学校評価アンケート「エ」③「進んで運動」肯定的評価 80%以上</p> <p>B 学校評価アンケート「エ」③「進んで運動」肯定的評価 70%以上</p> <p>C 学校評価アンケート「エ」③「進んで運動」肯定的評価 55%以上</p> <p>D 学校評価アンケート「エ」③「進んで運動」肯定的評価 55%未満</p> <p>A 学校評価アンケート「エ」④「食習慣・生活習慣」肯定的評価 70%以上</p> <p>B 学校評価アンケート「エ」④「食習慣・生活習慣」肯定的評価 60%以上</p> <p>C 学校評価アンケート「エ」④「食習慣・生活習慣」肯定的評価 50%以上</p> <p>D 学校評価アンケート「エ」④「食習慣・生活習慣」肯定的評価 50%未満</p> <p>A 学校評価アンケート「カ」①「校内整備・美化」肯定的評価 80%以上</p> <p>B 学校評価アンケート「カ」①「校内整備・美化」肯定的評価 70%以上</p> <p>C 学校評価アンケート「カ」①「校内整備・美化」肯定的評価 55%以上</p> <p>D 学校評価アンケート「カ」①「校内整備・美化」肯定的評価 55%未満</p> <p>A 学校評価アンケート「ク」④「交通安全防止(不審者対応)」肯定的評価 80%以上</p> <p>B 学校評価アンケート「ク」④「交通安全防止(不審者対応)」肯定的評価 70%以上</p> <p>C 学校評価アンケート「ク」④「交通安全防止(不審者対応)」肯定的評価 55%以上</p> <p>D 学校評価アンケート「ク」④「交通安全防止(不審者対応)」肯定的評価 55%未満</p>						
その他	金井中学校との円滑な統合に向けて	<p>①1年生の生徒、教員の交流を図る。</p> <p>②不要物品の廃棄を計画的に行う。</p>	<p>①合同学年会、交流学習を学期に1回実施する。</p> <p>②学期に1回、職員作業日进行ける</p>	<p>4. 予定の80%実施</p> <p>3. 予定の70%実施</p> <p>2. 予定の50%実施</p> <p>1. 予定の50%未満</p>			<p>A 教員のアンケートによる肯定的回答80%以上</p> <p>B 教員のアンケートによる肯定的回答70%以上</p> <p>C 教員のアンケートによる肯定的回答50%以上</p> <p>D 教員のアンケートによる肯定的回答50%未満</p>						

取組指標の評価基準(結果数値からABCD評価へ)	成果指標評価基準	学校関係者評価の評価基準例
取組指標平均 3.5以上 ⇒ 評価A	成果指標平均 80%以上 ⇒ 評価A	A⇒ 取組・成果ともに十分評価できる
取組指標平均 3以上 3.5未満 ⇒ 評価B	成果指標平均 70%以上 ⇒ 評価B	B⇒ 取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい
取組指標平均 2以上 3未満 ⇒ 評価C	成果指標平均 55%以上 ⇒ 評価C	C⇒ 目標達成には至らなかったため、次年度の改善が必要
取組指標平均 2未満 ⇒ 評価D	成果指標平均 55%未満 ⇒ 評価D	D⇒ 重要な課題であるため、次年度、重点的に改善※ 学校からの十分な説明をもとに、学校運営協議会で成果と課題、改善点について協議する。

※ 学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。